

あいの広場

11月届出分

おくやみ申し上げます (敬称略)
(死亡者) (届出人) (公民館)

岸 良 貞 子 66 修 二 外	松 下 初 夫 76 カズ子 下京塚原
高 嶺 正 人 72 隆 子 高 嶺	日 高 フ チ 93 弘 光 鶴 宮 園

善意の灯火 (11月分)

香典返し (敬称略) (公民館)
(寄付者)

井 上 末 美 (故 下大迫初子) 岡 山 県	松 下 カズ子 (故 初 夫) 下京塚原
岸 良 修 二 (故 貞 子) 外	高 嶺 隆 子 (故 正 人) 高 嶺

休日在宅医

1月 1日	稲津病院 (外科)	52-3355
2日	海江田医院 (外科)	53-0006
	川島医院 (内放) 樋脇町	37-2018
3日	医師会病院 (内外児)	53-0326
6日	宮之城病院 (精神)	53-0180
	おおたクリニック (内科) 入来町	44-3151
13日	医師会病院 (内外児)	53-0326
14日	相良医院 (内児)	53-0160
20日	国吉内科 (内科)	53-1451
27日	立志病院 (内科)	55-9119
	川添医院 (内児) 樋脇町	37-2017
2月 3日	MKリハビリテーション病院 (内科)	53-1704

世帯数と人口

11月30日現在住民基本台帳

世帯数	1,819戸	(前月比 +6戸)
人口	5,029人	(前月比 +6人)
男	2,359人	(前月比 ±0人)
女	2,670人	(前月比 -6人)

シリーズ 46

ふるさと いいとこ歩き

大願寺跡の墓石等群 (薬師堂・開山堂)

古い本によると、大願寺は白鳳時代⁽⁶⁴⁵⁻⁷¹⁰⁾に仏教美術の盛んな時代^{II}に本願堂として創建されているようです。千三百年ほど昔のことになります。

当時は、寺院というよりも皆がお詣りに来るお堂だったと想像されます。

宝治二年⁽¹¹³²⁾に祁答院氏が神奈川県から下向後の貞治五年⁽¹¹³⁵⁾、六代目公重は祁答院氏の菩提寺として寺を大きくし、諸山^(しよさん)という寺格を認められ、名称は黄龍山大願寺となりました。大願寺を創立したのは、一関

国師 (高僧) で、初代住職は起宗和尚と伝えています。六百五十年昔からの寺院ということになります。

開山堂跡には、九州や全国的な高僧の墓塔が多くあります。中でも、入来院氏の一族である慈航和尚大禅師 (大願寺や福岡聖福寺、京都万寿寺の住職) は、全国一の寺格をもつ京都南禅寺の住職もした石塔もあります。また、祁答院四代行重や五代重実の墓塔もあります。薬師堂跡には、祁答院氏歴代の六人や多くの高僧の墓石

塔がたくさんあります。

金閣寺を建てた足利三代義満が、医王宝殿 (薬師如来のお堂) と書いた額もありましたが、今は日吉町にあります。栄枯盛衰した大願寺は、宝永六年⁽¹⁷⁰⁹⁾に島津二十一代吉貴によつて、とうとう廃寺となり、鹿児島島の南泉院 (現照国神社) に移されました。大願寺の盛んな頃は、比丘尼寺 (尼寺) や脇寺も多くあつて、坊さんたちの修行の寺院だったと伝えられています。

